

来週の「売り物記事」はこれ



2018年6月29日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

ボスニア紛争で生まれた子供

苦悩と再出発の四半世紀

7月1日(日)



三つの民族による血で血を洗うボスニア紛争(1992~95年)のでは、約20万人が犠牲となり、敵対する民族の女性が性暴力を受けました。性暴力により生まれた赤ちゃんが見捨てられるケースも多かったです。

大人になった彼らは、どのような人生を送り、いま何を思うのか。実の母親や父親を捜し出した「戦争で生まれた子供たち」取材しました。

筆者はウィーン支局の三木幸治記者です。

筆者はウィーン支局の三木幸治記者です。



それホント? 納骨堂、都市部で増加 サラダぼうる面 同2日(月)



「遺骨はお墓に」という考えは、もう古いのでしょうか。屋内に遺骨を安置する納骨堂が、都市部を中心に増えています。厚生労働省のまとめでは、東京都内の納骨堂はこの20年間で約1.6倍に増加したそうです。人はなぜ、墓地ではなく納骨堂を選ぶのでしょうか。東京・下町のお寺さんやお参りする人たち。記者が歩くと、今風な世相の一端が見えてきました。

北朝鮮のグラフ誌に掲載された写真

夕刊特集ワイド 同2日(月)

南北朝鮮の融和ムードが広がるなか、北朝鮮のグラフ誌に朝鮮戦争時代、粛清された朴憲永(パクホニョン)元首相兼外相が金日成主席と並ぶ写真が掲載されました。写真は1948年4月に平壤で開かれた「南北朝鮮連席会議」のひとコマです。北朝鮮では、粛清された人物の写真は徹底して消されてきただけに謎めきます。



このミステリアスな写真を携えて、記者は在日の詩人、金時鐘(キムシジョン)さんを訪ねました。若かりしころ、朴憲永はあこがれの革命家として仰ぎ見る存在だったというのです。「よくこの写真を出したもんや。想像を絶することですよ」。金時鐘さんはそう言って北朝鮮の決断に思いをはせました。

なるほど、年初から対話攻勢に転じた金正恩朝鮮労働党委員長と、統一政府樹立を目ざし平壤に南北の政党、社会団体の代表者たちを集めた当時の金主席が重なります。このタイミングで写真を「解禁」したのは理由があると、専門家も口をそろえますが、その真意は深いベールに包まれ、まだわかりません。

日本、初のベスト8なるか サッカーW杯決勝トーナメント

一面、スポーツ面など 同4日(水)



サッカーの世界カップ(W杯)ロシア大会で、2大会ぶりに決勝トーナメントに進出した日本代表。決勝トーナメント1回戦の相手、ベルギーは国際サッカー連盟ランキング3位の強豪です(日本は61位)。昨年11月の親善試合では0-1で日本が敗れました。

初の8強進出にはベルギーの強力攻撃陣を抑えられるかがカギとなりそうです。キックオフは日本時間の7月3日午前3時。日本中が注目する一戦を現地からレポートします。

親ありて 芥川賞作家・綿矢りささんの両親

くらしナビ面 同4日(水)、5日(木)

2004年、早稲田大在学中に「蹴りたい背中」で芥川賞を最年少受賞した作家の綿矢りささん(34)。京都市出身で4人家族だった綿矢さんは、結婚と出産を経て、現在は育児と執筆活動に奔走しています。短大准教授で母の宏子さん(60)が「本の虫」だった子ども時代の綿矢さんにかけての言葉——それは、「漫画は買わないけれど、小説なら買ってあげる」でした。



男・村田、独立Lから再出発 「ドキュメント」第6部

二面 同5日(木)



「働く」をテーマに、ニュースな現場で生きる人々が織りなすドラマを描く「ドキュメント」。第6部はプロ野球・巨人から戦力外通告を言い渡され、今年から独立リーグでプレーしている村田修一選手を追います。

初めての一人暮らしや、用具や練習場も十分ではない厳しい環境に身を置きながら、NPB復帰を目指して戦い続ける村田選手。スポーツ選手の新たな「働き方」を描きます。

ぷらすα 虐待防止に「一日里親」 くらしナビ面 同6日(金)

東京都目黒区で両親から虐待されて亡くなった5歳の女の子が残した言葉に涙した人も多いことでしょう。「核家族化が進み、見よう見まねで子育てした結果、うまくいわずに子どもを虐待している」と専門家は指摘します。地域の人から子育てを学び、時にはバトンタッチしてもらおう——。「一日里親」になろうと動き出したママたちの取り組みを紹介します。



都市対抗企画 「我がまち」 新総合面 同3日(火)～



社会人野球の「真夏の祭典」、第89回都市対抗野球大会(毎日新聞社、日本野球連盟主催)が7月13日に東京ドームで開幕します。優勝旗の黒獅子旗を目指し、12日間にわたって熱戦を繰り広げる32チームは、各都市の代表として地元の期待を背に戦います。ホームタウンの自治体の代表者に「我がまち」のチームへの応援メッセージやチームとの関わりなどを聞きました。